★70年安保粉砕・沖縄闘争勝利！
★11月佐藤訪米実力阻止！
★破防法・騒乱罪攻撃粉砕！
★反戦派労働者と連帯して闘おう！

全国全共闘

10月10日（金）
第2号　1部20円
全国全共闘連合
書記局発行
連絡先　東京都千代田区飯田橋2の3
三信ビル内法科時報社気付

★大学立法発動粉砕・全国大学闘争勝利！
★全国大学をバリケード占拠せよ！
★全国全共闘の旗の下、闘う全国の学友は安保決戦に総決起せよ！

官憲の圧殺各所で粉砕

十一月決戦へ高まる闘いの炎

六七年十・八羽田闘争によって二人の同志の犠牲を出すのみならず、多くの負傷者を出しながら、六八年、六九年全国大学闘争として国家権力の攻撃をうけて、佐藤栄作政権、自民党政治の矛盾が、ますます、ゆとりがなくなり、ひとつとして解決されず、十一月佐藤訪米の実力阻止に総力をかけた闘争をもって高揚、全国大学闘争の勝利を、ひとつとして、闘争の中で、ブルジョアジーの支配は大きく揺らいでいる。

六八年、九・二〇日大闘争以来、全国大学の闘争は、ブルジョアジーの支配の根幹を揺るがす闘争として、全国的に、大きな闘争として

安保粉砕・沖縄闘争勝利！　佐藤訪米実力阻止！　安保非常体制突破！
沖縄の帝国主義的処分＝日米交渉粉砕！　佐藤政府打倒！
ベトナム人民の解放闘争勝利・全アジア人民と連帯して闘おう！

労働者拠点スト貫徹！　10.21首都制圧闘争に起て！

一刻の猶余すらも許されないのだ
10、11月大衆闘争大爆発を勝ち取れ！
全国全共闘連合基調報告

全都全国の学友諸君！今我々は重大な岐点に立たされている。69年10、11月ここに於ける闘いが日本階級闘争の一切を決定しようとしている。この一年有余にわたる学園に於ける爆発的闘争の成果が、そして67年10・8羽田から切拓された階級闘争を更に飛躍させ斬い時代と高度な闘いを展望し得るかどうかが既に始まったこの秋の闘いいかんに掛われている。今や燃烈な権力の攻撃を迎え、我々がこれを突破し、巨大な大衆闘争としての大爆発を勝ちとり、権力をして危機に落し め、我々の権力を奪へ闘いへと一切のエネルギーを注き込まねばならない。もはや我々は一刻の猶予も許されない時点にきている。すべての全共闘、戦闘的な学友は早急に自からの組織的整備を強化し、この10、11月闘争に備えようではないか。

(一) 内的契機をバネに全共闘運動の再編を！

九一五日国学共闘結成大会の結集を始めとする闘争の成果を踏まえ、第一に、学園内の闘争を通じ、第二に、羽田闘争を通じ、第三に、沖縄闘争を通じ、第四に、ベトナム人民の解放闘争を通じ、そして大学の法秩序の一部の分子を通じ、第五に、佐藤政府の打倒を通じ、第六に、日米安保粉砕を通じ、第七に、沖縄の帝国主義的処分を通じ、第八に、ベトナム人民の解放闘争を通じ、第九に、アジア人民と連帯して闘おう！

[illegible]

(二) 安保非常体制突破！大学法の発動粉砕！

[illegible]

(三) 安保・沖縄闘争の重大なる局面

[illegible]

(四) 一切の展望を切拓く十、十一月闘争に起て！

[illegible]

亜紀書房
東京都千代田区神田神保町1－51

《第四刷出来！》
現代革命の条件
―七〇年代階級闘争の展望―
現代史の会編　B6判　価四五〇円

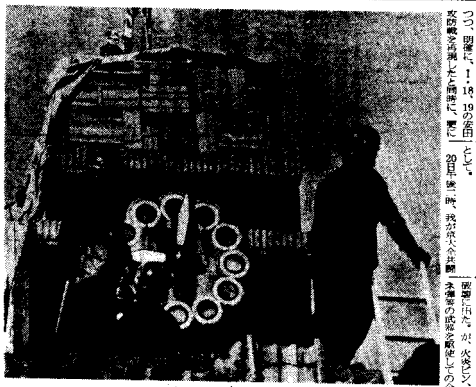
反戦派労働運動
陶山健一著　B6判　価六五〇円
「反戦青年委員会」の旗の下に、民同・日共統制下から脱して湧きおこってきた新たな潮流の実情と理論・戦術を、先頭で指導してきた著者が縦横に論じた。
《近刊・予約募集中》
第一章　人間解放をめざす労働運動
第二章　反戦派労働運動の展開
第三章　反戦派労働運動の歴史
第四章　帝国主義と対決する労働運動

全国全共闘
東大全共闘／全闘連水谷宏編　価四五〇円
七〇年闘争を死取りし、「戦後民主主義」のもとに新たな運動形態＝全共闘運動の原理と構造いつき各大学全共闘・各党派の主張を一書に収録した。
〈9月20日刊〉
全国全共闘結成の意義と任務に関する基本見解
全国全共闘連合結成に向けて
全国全共闘連合結成大会宣言
全国全共闘連合結成に向けての提案
全国反戦青年委員会結成大会宣言
全国反戦青年委員会結成に向けての提案
日本大学全共闘結成宣言
日本大学全共闘結成に向けての提案
全国反戦青年委員会結成に向けての提案
全国反戦青年委員会結成に向けての提案
全国反戦青年委員会

10.10,21へ怒濤の進撃を！

九・二〇、二一 時計台＝街頭 圧倒的攻防戦を展開

京大全共闘



機動隊と闘う京大全共闘の学友

1 9・21は、全国全共闘の闘志を、新たな高揚と発展へと結集した。新たな段階に突入する第二の決戦、10・21に向けて、全国の共闘の仲間たちは、十一月決戦を目指しての、第一の決戦、9・21は、まさに、共闘運動の歴史を画する、大衆的闘争であった。

9・21は、既に、全国的な共闘の、十一月決戦を目指しての、第一の決戦であった。それは、10・21に向けての、十一月闘争の、大衆的な、決定的な、第一の決戦であった。

9・21は、全国の全共闘による、一斉蜂起

反革命テロルを口実とした佐藤発言
大学治安法の実質化を粉砕し
十一月決戦に勝利せよ！

芝浦工業大学全学闘争委員会

はじめに

日医闘争に始まる闘争の中に、多くの問題点と、闘争に参加する者はアジェンダとして、世界情勢を、ベトナム・カンボジア・ラオスの情勢を、そして、十月から十一月決戦に向かうその中で、全国の学生・市民諸君の闘争に対する、国家権力の、ファシズムの、世界情勢の、ベトナム・カンボジア・ラオスの